

## 【大津町体育協会】

- ・事業名 大津町サッカースクール
- ・会場 大津町運動公園多目的広場
- ・期日 令和2年7月9日、7月23日、7月30日、8月6日（4回）
- ・講師 甲斐卓氏 桐原正喜氏
- ・内容
  - ・基本的な技術、戦術の習得を希望する中学生を対象に公認指導者の指導を受ける場を提供する。
  - ・サッカーを通して友情の和をひろげ、豊かな人間性を育てる。育成の輪を広げる。
  - ・ハード面の環境の充実をソフト面の環境につなげる。（選手と指導者の育成）
- ・参加者 大津町内中学1、3年生 延べ 84人
- ・成果
  - ◆当初は中学1年生を対象のサッカースクールを実施する方向で話を進めていたが、中学3年生からもスクールへの参加の希望が多かったので両学年で開催することにした。特に中学3年生はコロナウイルス感染拡大により中体連が中止になってかなりの活動制限で辛い思いをしておりサッカーに対する情熱を失わせないためにも快くスクールへの参加を承諾した。
  - ◆開催会場が大津町運動公園多目的広場（人工芝）で行われ、ハード面では申し分ない素晴らしい環境で活動することが出来た。子どもたちもモチベーションも高く取り組むことが出来た。
  - ◆トレーニングの内容については「パス&コントロール」→「ボールポゼッション」→「スモールサイドゲーム」を流れとして取り組んだ。指導者の子どもたちへの声掛けはミスが起きても出来るだけポジティブな声掛けを心掛けた。【ミスをして叱られて下をうつ向いてしまう】ではなく【ミスしてもチャレンジしたことを評価してあげる】ことで前向きにトレーニングに取り組む様子が出るようになった。指導者のミーティングでも「ポジティブシンキング」を常に頭に入れて子どもたちへの関わりを大切にしていくことを心掛けた。
  - ◆サッカーというスポーツは「ボールを止める、蹴る」が最も要求されるスポーツであることをベースにしてトレーニングに取り組んだ。「パス&コントロール」に関しては最も大切で、まずは正確にそして徐々にパスのスピードや、動きのスピードを上げさせていくことを大切に。中1に関しては正確さに重点を置き、中3に関してはパスや動きのスピードへも働きかけた。次にDFを入れてのトレーニングを行うことでより実践的なストレスのかかるトレーニング「ポゼッション」に取り組んだ。まだまだ課題も多いがDFの状態を観てプレーする面が多々観られるようになってきた。次に「スモールサイドゲーム」に関しては子どもたちはとても前向きに攻撃と守備の切り替えも早く充実したゲームを経験できたように感じている。
  - ◇子どもたちの感想①「毎回とても楽しみに参加できました。」②「グラウンドも素晴らしく自分が上手になったように感じました。」③「トレーニングがわかりやすくとても楽しかったです。」④「中体連が中止になりとてもショックを受けていましたが今回のサッカースクールへ参加したことで高校に行っても又頑張ろうと思いました。」
  - ◇保護者の声①「わが子が伸び伸びとトレーニングに取り組み目を輝かせている姿を嬉しく思いました。」②「サッカースクールが毎週あって欲しいと思います。」



## 【アロマクラブ】

- ・事業名 ヒップホップダンス体験会
- ・会場 松島総合センターアロマ
- ・期日 令和2年8月22日、8月29日（2回）
- ・講師 元松芽久美氏
- ・内容
  - ・幼児、小学生を対象に専門家による指導。  
ダンスの持つメリハリの利いた動きを集団で作り上げる
  - ・体感のある動きづくりを通して、特性に触れる楽しさを経験させる。
- ・参加者 上天草市内の幼児～小学生 延べ 21人
- ・成果
  - 参加者の感想
    - ・音楽に合わせて踊るのが楽しかった。
    - ・難しいところもあったけど、先生が優しく教えてくれた。
    - ・いろんなポーズがあった。
  - 保護者の感想
    - ・楽しそうにしていたので、参加させてよかった。
    - ・今後も定期的にやってほしい。
    - ・カメラで撮る時間を作ってもらい、記録に残せてよかった。



## 【嘉島湧く湧く元気クラブ】

- ・事業名 嘉島湧く湧く元気クラブ指導者研修会 ・会場 嘉島町民体育館、嘉島西小学校、クラブハウス
- ・期日 令和2年9月4日、18日、28日（3回）
- ・講師 立山明佐子氏、久保田聡氏、中尾雄一氏、坂田はるみ氏
- ・内容
  - ・クラブ指導者に対しては、ACPイベントやACP講習を通して、子どもたちへのACP実技指導方法を体得し、クラブ教室の指導に活かしてもらう。
  - ・クラブ会員に対しては、ACP運動遊びの楽しさ体験の機会を提供する。
- ・参加者 クラブ会員、クラブ指導者、クラブ役員 延べ 73人
- ・成果

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、今年度の教室開催見合わせを継続しておりましたが10月より開催することとなり、クラブ指導者、役員を対象とした指導者研修を行いたく、本事業に申請させていただきました。指導者から、「子どもたちの扱い方が難しい。」という声が近年よく聞かれるようになり、どのような指導方法が子どもたちにとって楽しく、集中できるのか、参考にできればとの思いから、ACPの研修を選択し開催いたしました。

まず、プロの指導者がどのように指導しているのか、どのような言葉かけをしているのかという、実践を見学、体験していただくために、「運動遊び広場」という、会員向けのイベントを2回行いました。指導者の指示、声かけのポイントを学び、指導者と実際に話し、質問等行いました。「指導の参考になった、ポイントを学ぶことができた」という声が聞かれました。クラブ会員の子どもたちにとっても、教室開催前の体慣らしとして、様々なプログラムで体を動かし、終始笑顔と歓声が上がっていました。「またやりたい、又来たい」という声に、2回共に参加してくれる子どもがほとんどでした。保護者からは、「コロナで体を動かす機会が減ったので、今日は本当に楽しそうよかった、またこのような機会があれば、ぜひ参加したい」という声がありました。

最後に、指導者向けに、ACP研修会を行いました。座学、1時間、実技1時間の中で、子どもたちの現況、体を動かさないとうなるのか、最も大切なことは、子どもたちが楽しく体を動かせるように促していく過程であり、難しくはないということ、など目から鱗の座学の内容に、参加者は熱心に聞き入っていました。ACPとは？が、頭に入ったところで、体育館に移動し、実技研修を行いました。簡単な動きにも、息を切らしながら、楽しく体を動かすことができました。研修終了後は、「資料、動画がほしい」「教室で、実践してみたい」という声が聞かれ、とても充実した研修となりました。今後も、定期的に継続して研修を行っていきたいと思います。

会費収入が途絶えてしまい、研修会を行う財源がない中で、本事業を活用させていただいたことで、クラブ指導者の知識向上はもちろんですが、イベントを開催ができたことで、町の広報誌へ掲載していただき、町内へのクラブの認知度を高めることができました。現在120名程の会員数となり、昨年の6割程にとどまっております。クラブの周知、会員確保を目指し、今回の事業で得た成果、マニュアルを元に、今後も、同様のイベント等を計画し開催していきたいと思います。更に、町内の小中学校と連携し、コロナ禍で運動機会が減った子どもたちへ、体を動かすことができる機会、環境を提供できるように、尽力していきたいと思います。この度は、当クラブへ助成いただきまして、本当にありがとうございました。





## 【チャレンジイトおたごう】

- ・事業名 タグラグビー教室 ・会場 太田郷小学校
- ・期日 令和2年10月14日、21日、28日、11月4日（4回）
- ・講師 江嶋久氏、園原誠也氏、富晃之介氏、宮本尚美氏、野村弥佳子氏
- ・内容
  - ・タグラグビーを通して豊かな人間性を育てる
  - ・基本的技術を身につけ体力の向上を図る
  - ・仲間と協力しゲームの楽しさを味わう
  - ・基本プレー（パス）⇒チームの動き ⇒ゲーム（ルール・マナー）→（ルール →（マナー）
- ・参加者 わんぱくクラブ会員を含む小学校1年生以上の男女 延べ 180人
- ・成果 感想回答者43名 1年生16名 2年生19名 3・4・5年生8名

1 ラグビーというスポーツを見たことがありますか。

ア あります。 1年 5名 2年13名 3・4・5年4名

イ ありません。 1年11名 2年 6名 3・4・5年4名

2 今までタグラグビーをしたことがありますか。

ア あります。 1年 2名 2年 6名 3・4・5年4名

イ ありません。 1年14名 2年13名 3・4・5年4名

3 今回タグラグビーをしてどんなところが楽しかったですか。

ア あいてのタグを取ったとき 27名 イ ボールをパスするとき 20名 ウ 点をとったとき 23名

エ ルールがわかったとき 6名 オ チームのみんなと協力できたとき 22名（1・2年生18名）

※ほかに気づいたり、思ったりしたこと

・タックルをしたい。2年男子 ・みんな、上手になった。1年女子

・線をでたら終わり。3年男子 ・タグラグビーをして、ともだちと、なかよくできた。1年男子

※3の回答でオ「みんなと協力できたとき」1・2年生が特に多く、楽しさの基本をこの活動で学んでいる。クラブのモットーである『仲良く・楽しく・元気よく』への成長の一歩だと感じた。ルールの意識も今後の取り組みで向上させたい。

4 タグラグビーをして、どう思いましたか。

ア また、やりたいと思った。 1年9名 2年 9名 3・4・5年5名

イ 思ったより楽しかった。 1年7名 2年10名 3・4・5年3名

ウ あまり楽しくなかった。 1年0名 2年 0名 3・4・5年0名

※4の回答では「楽しくなかった」子どもが0人で、「またやりたい。」「思ったより楽しかった。」感想が回答の全体を占めたことは、この取組の大きな成果だった。また、ラグビー協会と連携して活動したことで、子どもたちのタグラグビーへの興味関心が高まり、活動プログラムが広がり、タグラグビーの継続的な取組ができること確信した。そして、お礼のお手紙からも感謝の心が育っている事を実感した。5名の協会コーチの丁寧な御指導に感謝したい。



## 【長嶺地域スポーツクラブ】

- ・事業名 長嶺地域スポーツクラブふれあい陸上教室
- ・会場 託麻南小学校、長嶺小学校
- ・期日 令和2年10月31日、11月1日、7日、8日（4回）
- ・講師 田中伸二氏、田中宏和氏
- ・内容 長嶺地域スポーツクラブふれあい陸上教室を通して
  - ・運動の楽しさを味わい、ルールを守り仲良くすることを学ぶ。
  - ・長嶺地域スポーツクラブの活動を子どもや保護者に周知してもらう機会とする。
  - ・低学年・・・基本的な走・跳の運動を行い、運動に親しむ。
  - ・高学年・・・年齢に応じた陸上競技の基本技能を身に着ける。
- ・参加者
  - ・託麻南小学校会員、低学年児童 30人 会員、高学年児童 15人
  - ・長嶺小学校会員、低学年児童 49人 会員、高学年児童 26人 合計 120人
- ・成果
  - ・長嶺地域スポーツクラブのエリア内小学校区（託麻南小学校、長嶺小学校）の児童を対象に募集したところ、合計120人の参加があり、盛況だった。
  - ・実施後にQRコード読み取りによる保護者を通じてのアンケートを取った。アンケート集計数は38人分。「参加してどうだったか」の質問には（とてもよかった25人、よかった10人に、まあまあよかった3人、よくなかった0人）。「役に立ちましたか」の質問には（とても役に立った27人、役に立った9人、まあまあ役に立った1人、役に立たなかった0人。9割以上が高評価であった。

### ●児童の感想

- ・また陸上教室をしてほしい。 ・速く走れるコツがわかった。 ・リレーが楽しかった。
- ・前より速く走れるようになってうれしかった。 ・8秒間走とケンケンパが楽しかった。
- ・音楽をかけて体操したことが楽しかった。 ・体育館で3秒で走るのが楽しかった。
- ・コーンの番号の場所から走るのがとても楽しかった。 ・たくさん質問できてよかった。
- ・思ったより先生が優しく、走る運動はとても楽しかった。 ・走るのが好きになった。

### ●保護者の感想

- ・今回のように昼間の活動だと参加できる。
- ・教えていただいた走り方を帰宅後話してくれたので、教え方がわかりやすかったのだと思う。
- ・体を動かす機会が少なくなっているので、また是非開催していただきたい。
- ・写真撮影や賞状、お菓子までいただきありがたい。
- ・また、機会があればぜひ参加させていただきたい。
- ・陸上教室は定期的にしていただきたい。



## 【クラブなごみ】

- ・事業名 指導者研修会・体験会
- ・会場 和水町スカイドーム2000
- ・期日 令和2年11月18日、12月2日（2回）
- ・講師 松崎貴美子氏
- ・内容 ACP指導者研修会・体験会
  - ・クラブ指導者、スポーツ推進委員に対しては、ACP研修会・ACP体験会を通して、子どもたちへのACP実施指導方法を体得し、クラブ教室等の指導に活かしてもらう。
  - ・クラブ会員や小学生、未就学児に対しては、ACP運動遊びの楽しさ体験の機会を提供する。
- ・参加者 ・クラブ指導者、スポーツ推進委員、会員、小学生、未就学児 延べ 59人
- ・成果 指導者としての考え方や指導内容の展開の仕方等、指導者としての観点を下記のように感じた。今後の活動に活かしていきたい。
  - ・多様な動きを経験させる
  - ・一定の身体活動量と活動強度を確保する
  - ・発育発達の個人差に配慮する
  - ・次々にプログラムを展開させる
  - ・できるようになったことを認めてあげる
  - ・いつも元気で楽しい雰囲気をつくる
  - ・こころの発達や社会性の獲得にも配慮する
  - ・異年齢交流を利用するACPを体験した参加者からの意見【参加者】
  - ・簡単な動きから、みんなと楽しく運動できたので良かった。
  - ・楽しかった。あっという間に時間が過ぎた。
  - ・次もやりたい。全体的には「楽しかった」「またやりたい」などの感想が多く聞かれました。





## 【やつしろ総合型クラブ「リ・ボンズ」】

- ・事業名 楽しくチャレンジ！！「器械体操入門」 ・会場 八代市立第五中学校体育館
- ・期日 令和2年10月16日、23日、30日、11月6日（4回） ・講師 岩崎多喜男氏
- ・内容 器械運動（マット運動）を中心に参加者それぞれのレベルに応じた指導を行い、運動の楽しさを伝える。また、クラブの指導者には研修の機会として、指導力向上と併せて、ケガ予防とリスク管理に役立てる。なお、事業終了後、参加者から教室の継続希望が多い場合は、新たにクラブのプログラムとして設定する。
- ・参加者 5歳児～小学4年生 延べ 58人
- ・成果 参加者の感想
  - ・とても楽しかった。 ・体操の基礎が習えて良かった。 ・もっとやりたい。
  - ・練習のメニューが楽しかった。 ・姿勢が大事だとわかった。※教室を毎回楽しみに参加し、側転を何回も見せてくれる子どもがたくさんいた。  
※参加者の意見などから、今後教室の中やサーキットプログラムの中に入れて、練習する機会を増やしていく予定。



- ・事業名 「チャレンジ・ザ・ゲーム」普及養成講習会 ・会場 八代市立第五中学校体育館
- ・期日 令和2年8月22日 ・講師 齊藤誠治氏、立本勝久氏
- ・内容 やつしろ総合型クラブ「リ・ボンズ」の陸上と総合運動教室において、「チャレンジ・ザ・ゲーム」普及講習会を行うことで、レクリエーションスポーツの普及を図る。また、クラブの指導者には指導力向上の研修機会とし、ケガ予防、リスク管理にも役立てる。なお、事業終了後も定期的に「チャレンジ・ザ・ゲーム大会」を実施し、新たにクラブのプログラムとして設定する。
- ・参加者 校区町づくり協議会、校区体育協会委員、やつしろ総合型クラブ「リ・ボンズ」スタッフ 延べ 18人
- ・成果
  - ・とても楽しかった。 ・参加者の意欲向上に繋がった。
  - ・実際体験したが、結構運動量があり、疲れたがとても良かった。
  - ・夜間のスポーツ教室でも是非取り入れ、チャレンジ・ザ・ゲームをやりたい。
  - ・校区のスポーツ大会出もやってみたい。今後も参加者の意見などから、不定期ではあるが、教室を継続して行く予定。



## 【NPO 法人長洲にここクラブ】

- ・事業名 指導者研修会
- ・会場 長洲町中央公民館
- ・期日 令和2年11月29日、12月13日（2回）
- ・講師 谷川直昭氏
- ・内容 クラブの指導者の研修の機会として、指導力の向上と併せて、ケガをしないためのトレーニングの仕方とケガをした際の応急処置の仕方を学ぶ。  
※コロナウイルス感染拡大防止の為、リモートでの研修会開催
- ・参加者 NPO 法人長洲にここクラブ指導者 延べ 8人
- ・成果
  - ・11月29日分  
体幹トレーニングの本などを購入して読んだことはあるが、実際に実技指導を体験したのは初めてで、とても勉強になりました。  
遊びを取り入れた体幹トレーニングを教えて貰い、次の練習に実践していきたいと思います。
  - ・12月13日分  
今回は、ケガをした際の応急処置の仕方ということで、実際にケガが起きやすい部位の固定の仕方を身の回りの物を利用して教えて頂きました。
    - ★腕（手首）を骨折した場合は、1日分の新聞紙を4つ折りにして骨折した部分に固定し、タオルで巻く。その後、ビニール袋の両端をはさみで切り三角巾を作り首から吊す。手が動く場合は、胸部と固定する。
    - ★突き指をした際は、割り箸とテーピングを使用する。
    - ★足首の固定方法として、傘を2本とタオルを使用して固定する。
    - ★脳しんとうを発症した場合は、意識の確認が先。
    - ★熱中症の際は、意識確認と水が自分で飲めるかを確認。それが難しいようだったら病院に行く。
- ・参加者の感想  
日頃の練習の際、コールドスプレー等は持って行くが、タオルや新聞紙、テーピング等は準備していないので準備しようと思いました。  
毎回、子どもが練習に行く際には「アイスノン」「割り箸」「新聞紙」「タオル」「テーピング」「買い物袋」「はさみ」を準備して行こうと思いました。
- ・今回も分かりやすく丁寧に御指導頂き、最新の応急処置の仕方が勉強になりました。





## 【カルヴァーリオ・ラッソ人吉】

- ・事業名 子ども運動教室
- ・会場 人吉西小学校
- ・期日 令和2年11月20日
- ・講師 齋藤久允氏
- ・内容 カルヴァーリオ・ラッソ人吉において、子どもたちへの指導を行う上でのコツなどをアクティブチャイルドプログラムを用いて講話を行った。
- ・参加者 各教室指導者 15人
- ・成果 本来ならば、計3回の実施を計画しており、初回にACPや子どもに接する上での注意点を聞き、2・3回目で実際に講師が子どもたちに指導する様子を見ていただき今後のそれぞれの指導の参考にしていただく計画でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染状況から、実際に子どもたちへ指導を行う2・3回の実施は中止となりました。1回のみの実施となりましたが、参加者からは子どもに指導する上でのいい参考になった等の感想が聞かれました。また、各教室指導者からは、次年度以降も継続して実施してほしいとの意見もありましたので、次年度も継続実施をしていきたいと思っております。

